2017年9月期 決算説明会 資料

食文化の発展に情報システムで貢献する

株式会社 アルファクス・フード・システム

ALPHAX.FS CO.,LTD®

2017年12月1日

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

当資料取扱上の注意点

当資料に記載されている、当社の計画や戦略、業績に関する予想及び見通しのうち、歴史的事実を含んでいないものは、当社が現時点で把握可能な情報から判断した、想定及び所信に基づくものであります。
実際の業績は、様々な要因により異なる結果となる可能性もありますので、ご承知おき下さい。

会社の事業に影響を与える可能性のある事項の詳細は、「2017年9月期　決算短信」の「事業等のリスク」をご参照ください。
但し、業績に影響を与える可能性のある要素は、「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないこともご留意下さい。

法律上必要とされる場合を除いて、当社は事前の予告なく、将来の見通しに関する記述を見直すなど、将来の見通しの根拠となった仮定及び要因についての変更を行うことがございますので、ご了承ください。

【ＩＲに関するお問い合わせ先】
社長室

電話　：　0836-39-5151
E-Mail　：　ir@afs.co.jp

ALPHAX FOOD SYSTEM

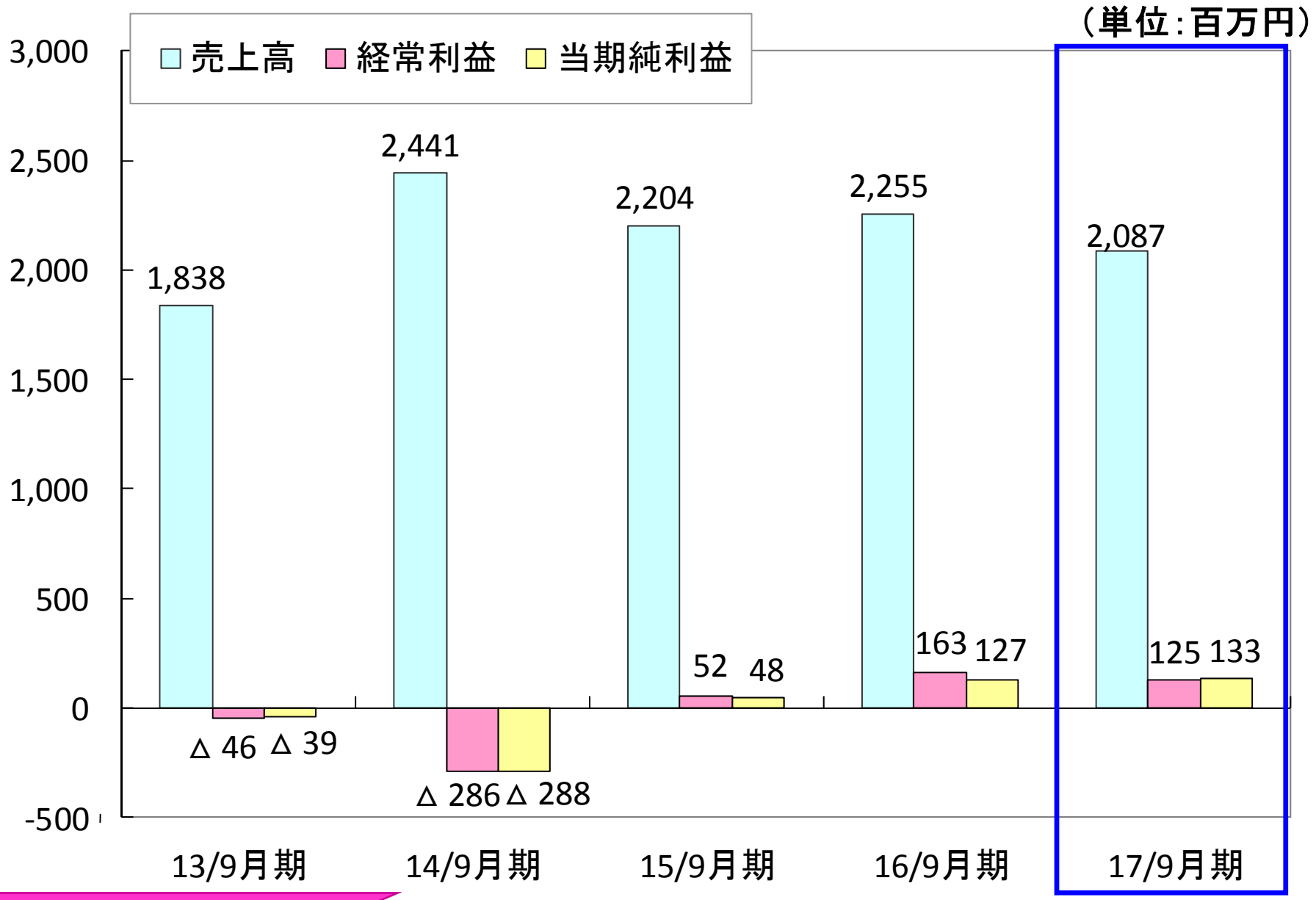
Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

2017年9月期　決 算 概 要

ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

業績の推移



ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

損益計算書

■ソフト販売の比重を上げた粗利益ベースの営業推進を継続（単位：百万円）

	17/9月期			16/9月期		コメント
		構成比	対前年同期増減率		構成比	
売上高	2,087	－	△7.5%	2,255	－	「飲食店経営管理システム®」のパッケージ販売の比重を上げた営業を推進中
売上原価	1,331	63.8%	△10.9%	1,494	66.3%	システム機器販売の抑制で低原価が定着
売上総利益	755	36.2%	△0.7%	760	33.7%	「飲食店経営管理システム®」の比重増加で粗利が改善
販管費	619	29.7%	+8.9%	568	25.2%	今期は更なる新卒者の積極採用で新人研修等の充実を拡充
人件費	379	18.2%	+14.6%	330	14.7%	各部署、中途･新卒者の積極採用で、若返りを図ると共に、今後の人材育成に集中
その他	240	11.5%	+0.9%	238	10.6%	一般経費の絞り込みを継続しながらも。販促、研修費は増額
営業利益	136	6.5%	△29.0%	191	8.5%	
営業外収益	9	0.4%	+1185.0%	0	0.0%	
営業外費用	20	1.0%	△30.6%	29	1.3%	
経常利益	125	6.0%	△23.4%	163	7.2%	

社員数	108名	+4.9%	103名

ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

貸借対照表

■データセンター･ホテル事業譲受等により総資産が増加

（単位：百万円）

主な勘定科目	16/9月期	17/9月期	増減額
流動資産	1,035	942	△ 93
固定資産	687	1,653	965
（資産合計）	1,723	2,595	871
流動負債	1,022	890	△132
固定負債	132	608	476
（負債合計）	1,154	1,498	343
1．資　本　金	537	537	―
2．資本剰余金	143	327	184
3．利益剰余金	135	268	133
4．自己株式	△248	△37	210
（純資産合計）	568	1,096	528
（負債・純資産合計）	1,723	2,595	871

ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

キャッシュフローの状況

■営業キャッシュフローは当初目標の、４億円程度に改善。

（単位：百万円）

主 な 項 目	17/9月期	増減額	16/9月期	コメント
営業活動	397	220	176	主なものは当期純利益、売上債権の減少等
投資活動	△631	△ 396	△234	主なものはデータセンター建設費用や ホテル不動産の購入費用
財務活動	253	265	△11	シンジケートローンを締結 長期借入れによる収入等
現金及び現金同等物の増減額	19	89	△69	
現金及び現金同等物の期首残高	229	△ 69	299	
現金及び現金同等物の期末残高	249	19	229	

ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

セグメント別売上高

■粗利の低いシステム機器販売のプッシュ型営業を抑え、収益改善

（単位：百万円）

主な事業セグメント	17/9月期			16/9月期		コメント
		構成比	対前年同期増減率		構成比	
ＡＳＰサービス事業	1,103	52.9%	0.4%	1,099	48.7%	前期よりパッケージ型の提案営業に軸足 システムインテグレーションは抑制
システム機器事業	815	39.1%	△20.6%	1,028	45.6%	引き続きプッシュ型の新規営業を抑制 基本既存顧客の出店対応と、 リプレイスに集中
周辺サービス事業	167	8.0%	31.1%	128	5.7%	新規営業は抑制し、 より主サービスにシナジー効果のある ものに限定・選別
合計	2,087	－	△7.5%	2,255	－	－

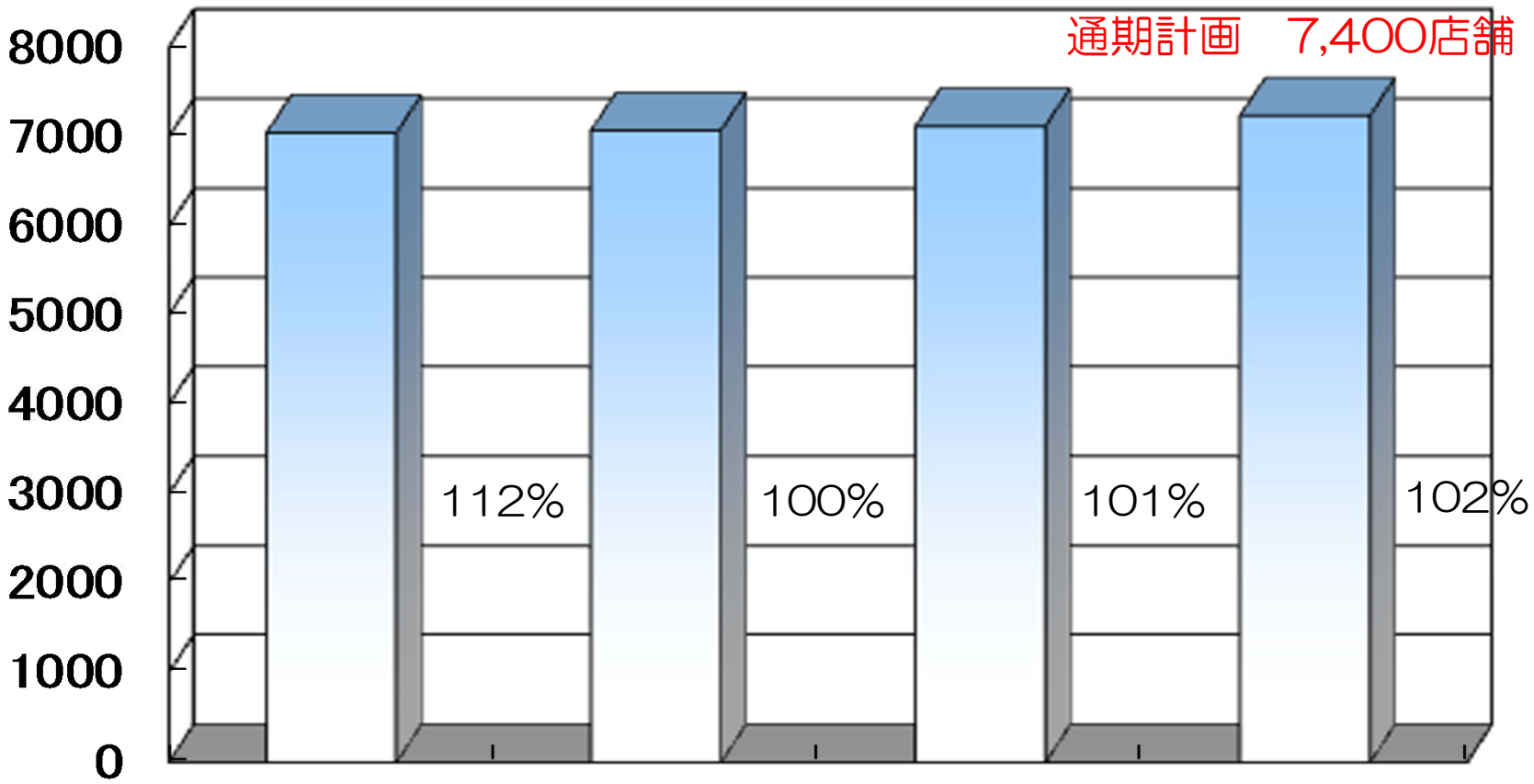
ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

主な経営指標の推移①

■ＡＳＰ基幹業務サービス事業 － サービス提供店舗数の推移

（単位：店舗数）



	14/9月時点	15/9月時点	16/9月時点	17/9月時点
サービス提供数	7,039店舗	7,067店舗	7,115店舗	7,232店舗
契約企業数	282社	282社	276社	273社

ALPHAX FOOD SYSTEM

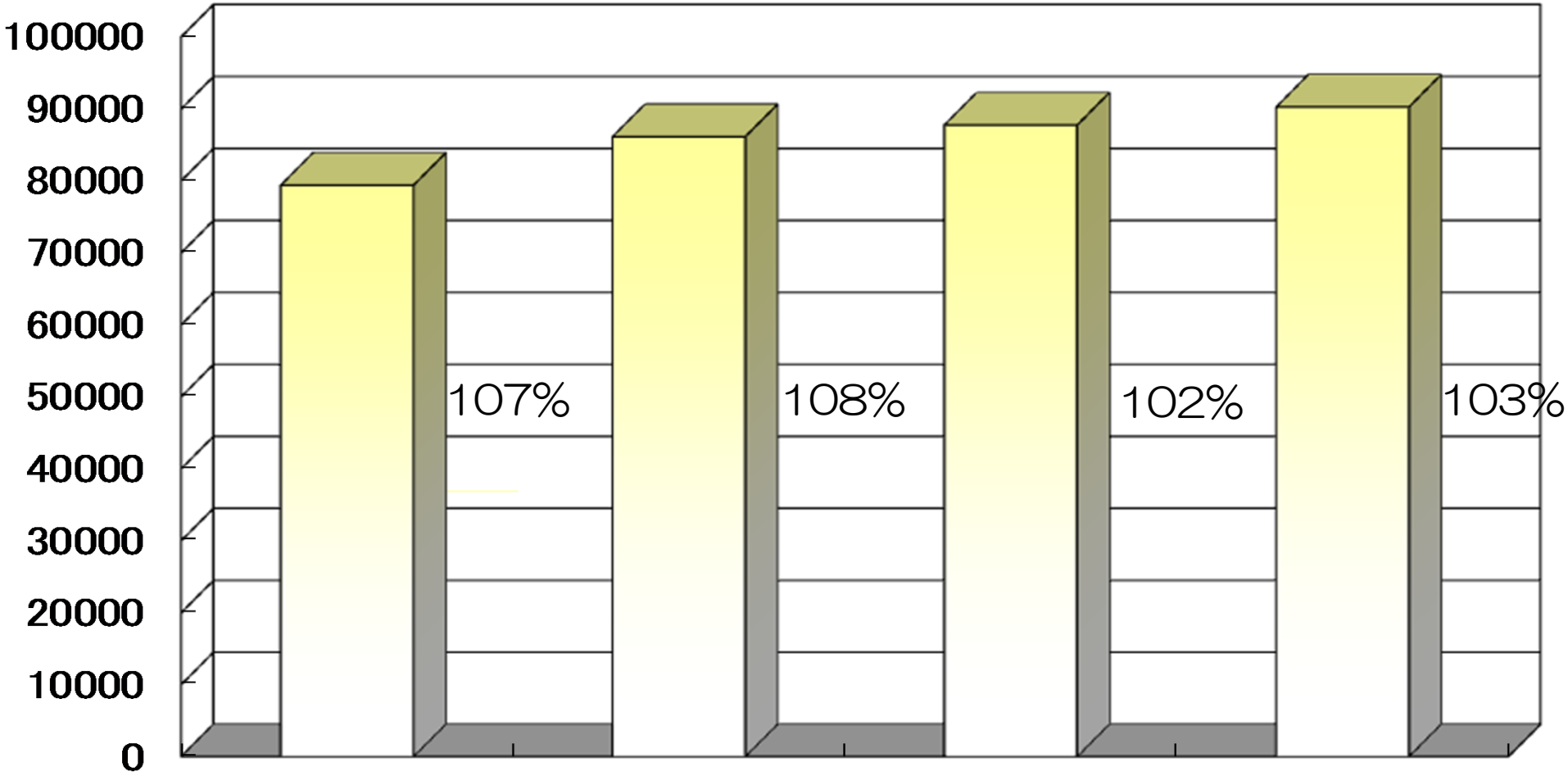
Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

主な経営指標の推移②

■ＡＳＰ基幹業務サービス事業 － 月額料金の推移

通期計画　1,150,000千円

（単位：千円）



	14/9月時点	15/9月時点	16/9月時点	17/9月時点
月額料金	79,393千円	86,136千円	87,747千円	90,249千円

ALPHAX FOOD SYSTEM

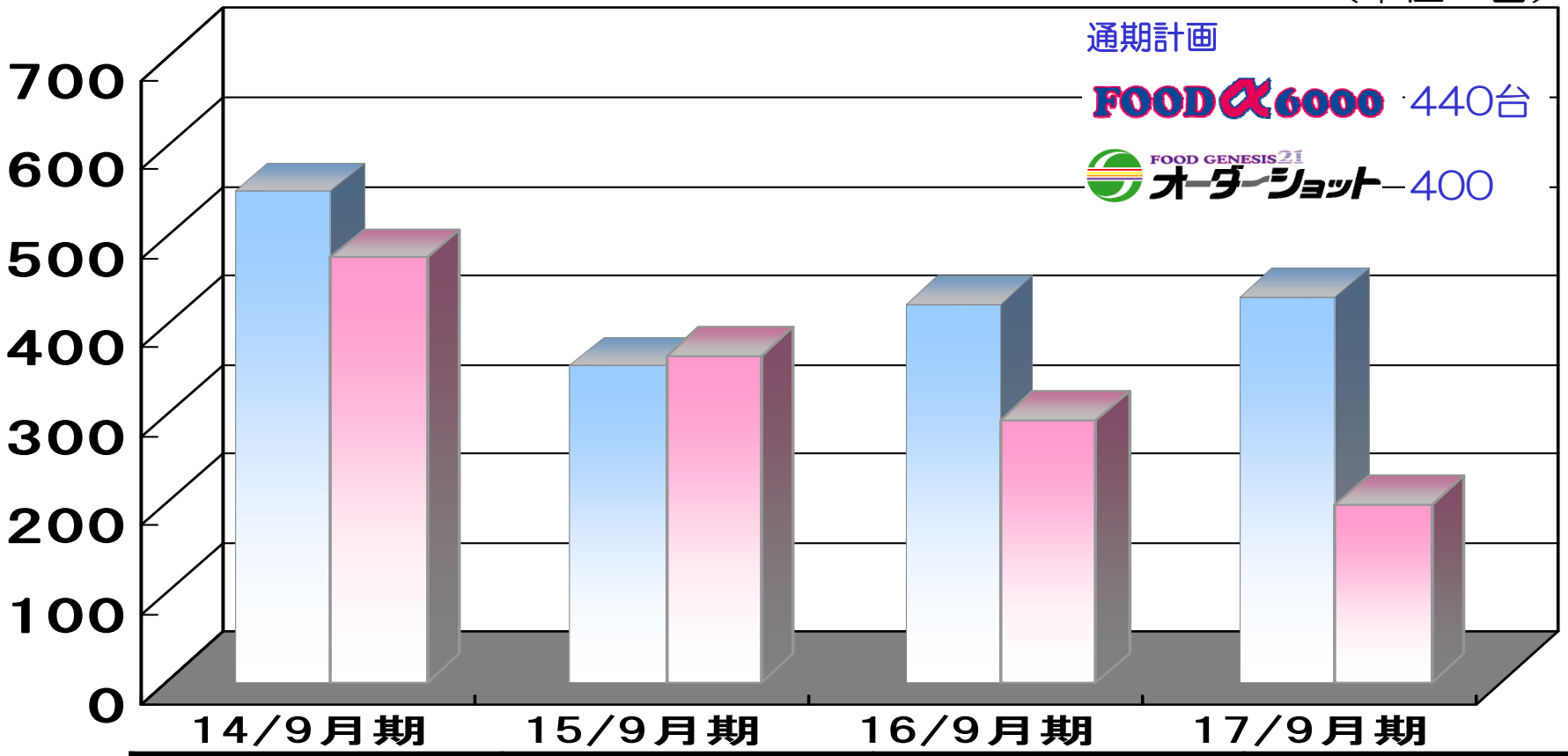
Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

主な経営指標の推移③

■システム機器事業 －ＰＯＳシステム（ FOOD α 5000 FOOD α 6000 FOOD α 4000 ）

FOOD GENESIS 21 オーダーショット の導入数（ FOOD GENESIS 21 テーブルショット をソフト提供のみは含まず）

（単位：台）



	14／9月期	15／9月期	16／9月期	17／9月期
FOOD α 5000 台数	551台	355台	424台	432台
FOOD GENESIS 21 オーダーショット 導入数	477	366	294	200

ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

2017年9月期下期 営業推進内容①

◆第３四半期の５月２４日に、日経MJ紙に、１面カラー広告を出稿
→2017年１月13日に特許を取得した「飲食店経営管理システム®」拡張機能「自動発注システム」強調

→特許取得も重なり業界人手不足の深刻化で、「自動発注ｼｽﾃﾑ」の更なる問い合わせ・見込み客商談は大手が急増している。

→引き続き「自動発注システム」での(想定を超える200-300店以上のﾁｪｰﾝ)大手対応は、調整など受注期間が１年程度必要 → 全営業所で対応

→自動発注の為の社外(専門ｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ)ネットワーク組織を構築中

→異例の早さで「飲食店経営管理システム®」「自動発注ｼｽﾃﾑ」特許取得

→特許確定で「自動発注システム」の受注／導入活動を再開
中堅が多くなっており、商談期間が長くなっている。

ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

2017年9月期下期 営業推進内容②

株式会社 NIPPON PAY との業務提携に関するお知らせ

当社は、平成 29 年6月 12 日開催の取締役会において、株式会社 NIPPON PAY（本社：東京都中央区 代表取締役社長　續 仁（つづき　じん） 以下「NIPPON PAY 社」 という）との間で業務提携を行うこと（以下「本提携」という）を決議し、本日付で NIPPON PAY 社との間で合意に達しましたのでお知らせいたします。

１．本提携の理由
当社は、「食文化の発
業務システムの ASP に
る「飲食店経営管理シス
テム(当社製品名：オー
ワンストップで行ってお
一方、NIPPON PAY 社は
しており、中国系観光客
トペイ・アリペイ）に対
して、決済を行うことか
従来の中国系主要決済
ルを POS システム内に搭
を集約して行う決済モジ
決済の集約決済システム
とで、飲食店のお客様の
協力と、相互の企業価値
社との LINE Pay 決済に

２．本提携の内容
・外食業界における「α
当社が ASP による基幹
(R)」の累計販売店舗数
中国系観光客は 2020
システムが、ほぼ等しい
「α－ＰＡＹ」利用店
の PC-POS システム「FO

NEWS RELEASE

JASDAQ

平成 29 年６月 12 日

各　位

会　社　名　株式会社アルファクス・フード・システム
代 表 者 名　代表取締役社長　田　村　隆　盛
（コード番号：3814　東証 ＪＡＳＤＡＱ）
電 話 番 号　０３－５６４９－２１００
Ｕ　Ｒ　Ｌ　http://www.afs.co.jp/

「FOOD αシリーズ」POS システム用マルチ決済システム「α―PAY」新発売

「α－ＰＡＹ」システム販売のお知らせ

株式会社アルファクス・フード・システム（本社：山口県山陽小野田市、代表取締役社長　田村隆盛）は、当社飲食店向け POS システム「FOOD α 5000」「FOOD α 6000」に搭載可能な POS レジマルチ決済システム「α－ＰＡＹ（アルファーペイ）」の発売を７月上旬より開始いたします。

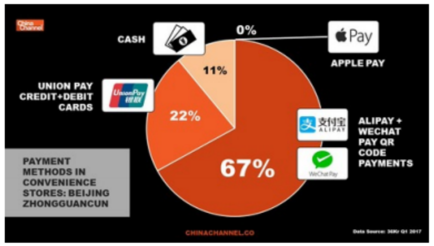
１．「マルチ決済システム」発売の背景

当社は、「食文化の発展に情報システムで貢献する」ことを事業ポリシーとして、外食業界に特化した基幹業務システムの ASP による提供から、あらゆる業態に対応できるパッケージ型の総合基幹業務システムである「飲食店経営管理システム(R)」の販売、飲食店店舗にて利用する POS システム、オーダーエントリーシステム(当社製品名：オーダーショット)の自社企画のシステム機器の開発・販売及び周辺サービスの提供までをワンストップで行っております。飲食店の POS システム市場は、スマートフォンやクラウド等を活用したフィンテック革命（ファイナンス（Finance、金融）」と「テクノロジー（Technology、技術)」の２つの言葉を掛け合わせて作られた造語）により、決済サービスの多様化が求められています。多種多様な決済サービスを POS システム内で実現するためには、それぞれの決済システムモジュールを POS システム内に搭載する必要性があり、膨大な開発コストが必要になります。

当社は、この多種多様な決済サービスを低コストで集約可能な POS システム用マルチ決済システムとして、「α－ＰＡＹ」をリリースいたします。

２．まずは、中国系決済のマルチ化から

現在、日本国内の決済システムは、専用の端末機器を用いながらも POS システムとの連動はなされている感がありますが、中国系の決済システムに関しては主要スマホ決済システム（ギンレン・ウィチャットペイ・アリペイが主要であり、主要３社の利用率 89%）３社を集約して対応できる POS システムはなく、主要決済システムのどれか１つを選定して対応するか、タブレット端末を活用しながら運用する方法しかありませんでした。１つを選定する方法は、利用者に選べる自由を与えませんし、タブレット端末の活用は、POS システムで算出した金額をタブレット端末に打ちかえ決済するもので、入力ミスや決済ミスの戻し処理が大変複雑になり、従業員のストレスになっています。「α－ＰＡＹ」は、株式会社 NIPPON PAY の中国系集約決済モジュールの提供を受け、POS システムと中国系の主要決済を連動して行うことで、決済運用をよりスムーズに処理することが可能になります。



中小規模飲食店向け POS「FOOD α 4000」の 代理店への提供開始に関するお知らせ

当社は、2017 年７月 14 日開催の取締役会において、2016 年 12 月、当社と株式会社光通信との合弁により設立した株式会社ＡＦＳマーケティング（以下、ＡＦＳＭ社）及び、販売代理店である株式会社 NIPPON PAY（以下、NIPPON PAY 社）などに対し、当社の新製品である、中小規模事業者向けの POS システム「FOOD α 4000」
の提供を開始

１．「FOOD α 40
ＡＦＳＭ社
減のシステム
レンタルパッ
当初、「ｅ店
を提供してお
ブレット型 PO
しかしなが
的なものに限
く、当社が標
たので、小ス
ね備えた「FO
製品詳細に

２．「FOOD α 40
「FOOD α 400
ＳＭ社が販売
ＡＦＳＭ社
同様に分析機
また、ＡＦ
理」・「e-CREW

３．今後の見
本件が当社
おります。今

NEWS RELEASE

JASDAQ

平成 29 年７月 14 日

各　位

会　社　名　株式会社アルファクス・フード・システム
代 表 者 名　代表取締役社長　田　村　隆　盛
（コード番号：3814　東証 ＪＡＳＤＡＱ）
電 話 番 号　０３－５６４９－２１００
Ｕ　Ｒ　Ｌ　http://www.afs.co.jp/

中小規模飲食店向け POS システム「FOOD α 4000」新発売

株式会社アルファクス・フード・システム（本社：山口県山陽小野田市、代表取締役社長　田村隆盛）は、当社新製品の中小規模飲食店向け POS システム「FOOD α 4000」の提供を開始し、当社子会社である株式会社ＡＦＳマーケティング（以下ＡＦＳＭ社）及び株式会社 NIPPON PAY（以下 NIPPON PAY 社）等の当社販売代理店にて販売を開始いたします。

１．背景

当社は、「食文化の発展に情報システムで貢献する」ことを事業ポリシーとして、外食業界に特化した基幹業務システムの ASP 提供から、あらゆる業態に対応できるパッケージ型の総合基幹業務システムである「飲食店経営管理システム(R)」の販売、飲食店店舗にて利用する POS システム、オーダーエントリーシステム(当社製品名：オーダーショット)の自社企画のシステム機器の開発・販売及び周辺サービスの提供までを、ワンストップで行っております。

中小規模の飲食店における POS システム導入の現状は、開業資金を極力抑えるために、会計だけできれば良いと先のシステムを考慮しないばかりか POS システムの選定基準も価格を中心におく傾向が強くなってきております。その様ななか、中小規模飲食店でも将来的なシステム化を考え「食材ロスの追及」「発注の自動化」を推進してもらう為には、それを見据えかつローコストな機器の選定が大変重要になります。

そこで当社は、会計システムのみならず「食材ロスの追及」や「発注の自動化」までを見据えたローコスト POS システム「FOOD α 4000」をＡＦＳＭ社及びほか販売代理店向けにリリースすることになりました。

２．ライバルはタブレットレジ

現在、中小規模の飲食店では汎用の「iPad」や「Android タブレット」を利用した POS システムの導入が増えてきておりますが、これらの汎用機を利用した POS レジでは、会計は行えても、例えば釣銭機やクレジット端末、勤怠集計の打刻機器等の周辺機器が利用できなかったり、店舗の状況を帳票ベースで把握する店舗監視帳票・食材ロスの追及及び自動発注に必要なデータ等を後方システムに渡すことが出来ず、分析資料としてデータを経営判断に十分に生かしきれないなど、店舗の発展性や拡張性の足かせになってきつつありました。

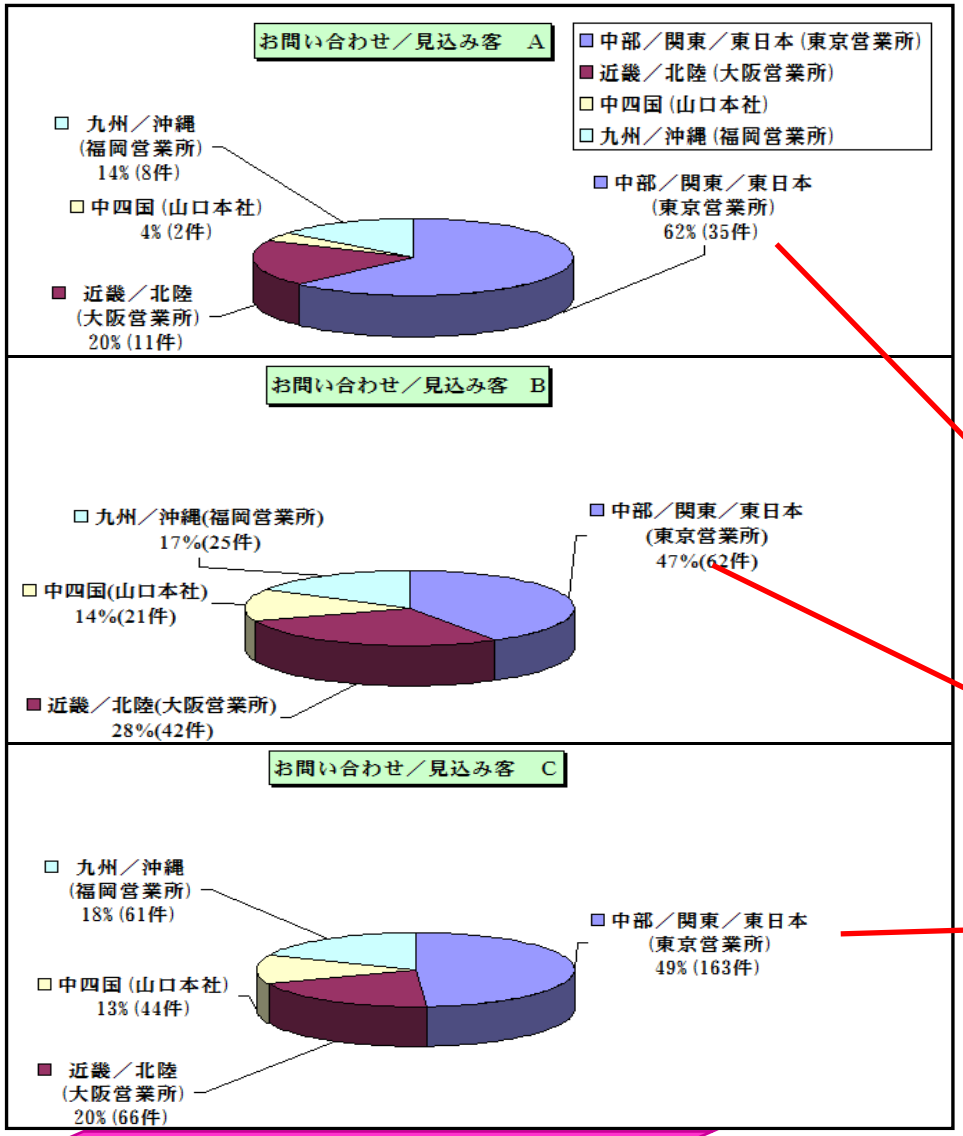
「FOOD α 4000」は、周辺機器に接続する可能性を考慮しつつ、経営管理帳票や食材ロス追求・自動発注の実現に必要な情報のみに絞ってローコスト化を実現させたことから、中小規模の飲食店市場に対し、「FOOD α 4000」を投入する事となりました。

ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

2017年9月期下期 業績結果分析①

◆前期からの積極的な大型展示会、自動発注ｾﾐﾅｰでの集客見込み客は、上場以来最高の水準に
その影で、東京営業所の予定採用人数ゼロとなり、予算／実績が近年最低水準に！



２０１７年度 新/中卒採用計画の現状

		営 業	技術ｻﾎﾟｰﾄ	合 計
福岡	予定	2	2	4
	新卒	1	0	1
	既卒	1	2	3
	採用	2	2	4
	採用％	100%	100%	100%
山口	予定	1	1	2
	新卒	0	0	0
	既卒	1	1	2
	採用	1	1	2
	採用％	100%	100%	100%
大阪	予定	2	2	4
	新卒	0	1	1
	既卒	3	1	4
	採用	3	2	5
	採用％	150%	100%	125%
東京	予定	5	3	8
	新卒	0	0	0
	既卒	0	0	0
	採用	0	0	0
	採用％	0%	0%	0%

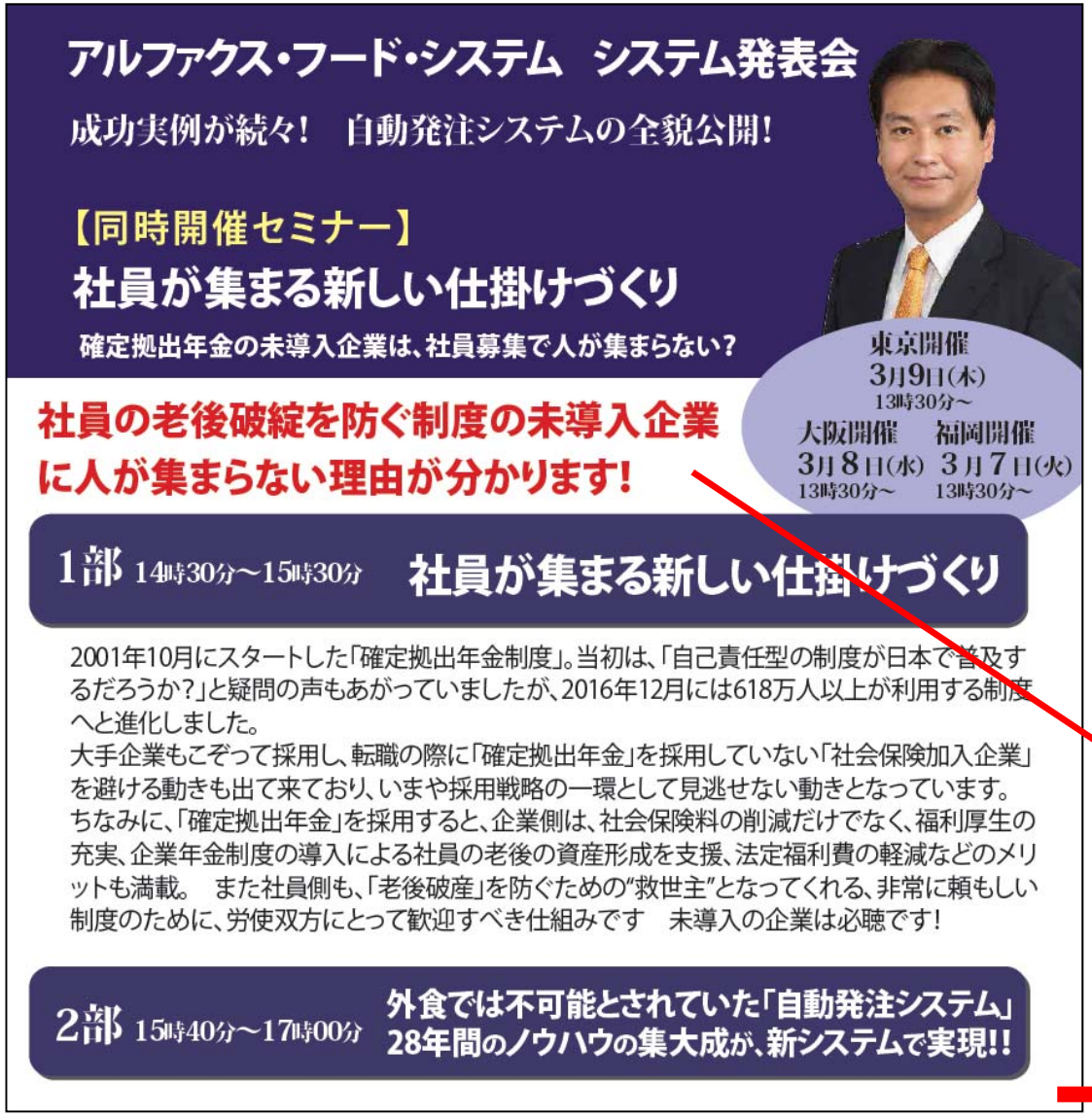
明らかに、新卒／中途採用不振が影響している。

ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

2017年9月期下期 業績結果分析②

当社のセミナーでも急遽実施　上場企業のほぼ１００％が加入(当社未加入)　特に関東地区就職に影響がある



２０１７年度 新/中卒採用計画の現状

		営 業	技術ｻﾎﾟｰﾄ	合 計
福岡	予定	2	2	4
	新卒	1	0	1
	既卒	1	2	3
	採用	2	2	4
	採用％	100%	100%	100%
山口	予定	1	1	2
	新卒	0	0	0
	既卒	1	1	2
	採用	1	1	2
	採用％	100%	100%	100%
大阪	予定	2	2	4
	新卒	0	1	1
	既卒	3	1	4
	採用	3	2	5
	採用％	150%	100%	125%
東京	予定	5	3	8
	新卒	0	0	0
	既卒	0	0	0
	採用	0	0	0
	採用％	0%	0%	0%

これが理由でした。

2017年10月より、確定拠出年金に加入

ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

2017年9月期下期 業績結果分析③

◆当社業績回復傾向により、既存客からのシステム機器更新の依頼が急増中◆

2007年度導入(当社システム機器本格市場投入期)ユーザーの買い換え時期となっている。

JASDAQ

平成 28 年 12 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社アルファクス・フード・システム
代 表 者 名 代表取締役社長 田 村 隆 盛
(コード番号：3814 東証 ＪＡＳＤＡＱ)
問合わせ先 執行役員管理部長 高 田 一 信
電 話 番 号 ０８３６－３９－５１５１
ＵＲＬ http://www.afs.co.jp/

株式会社光通信との合弁会社設立に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 12 月 1 日開催の取締役会において、株式会社光通信（本社：東京都豊島区、代表取締役社長 玉村 剛史、以
サービスの、より強力な
記のとおりお知らせいた

1．合弁会社設立の目的
当社は、現在、主に中
テム機器の製品・サービ
年より飲食店の規模・業
ステム(R)」を販売致して
当社と光通信社は、主
て協議を重ねてまいり、
セットにしたサービス)
資会社を設立することを
共同出資会社である株
信社より出向した営業社
プ会社である株式会社
という。）が、電力自由
も行って参ります。
当社が ＡＳＰによる
システム(R)」の累計販売
一方、光通信社および
業基盤、外食基幹業務
両社の飲食店顧客の利便
るものであります。

2．合弁会社の概要（予定）

（1）商 号	株式会社ＡＦＳマーケティング
（2）主 な 事 業 内 容	「飲食店経営管理システム(R)」の販売、「ハルエネでんき」の媒介販売 等
（3）設 立 年 月 日	平成 28 年 12 月 20 日
（4）本 店 所 在 地	東京都中央区日本橋小網町９－３（キャナルタワー１Ｆ）
（5）代 表 者	代表取締役社長 藤冨 雅則
（6）資 本 金 の 額	20 百万円
（7）出 資 比 率	当社：51% 株式会社光通信：49%

3．合弁相手先の概要

（1）商 号	株式会社光通信	
（2）所 在 地	東京都豊島区西池袋一丁目４番 10 号	
（3）代表者の役職・氏名	代表取締役社長 玉村 剛史	
（4）事 業 内 容	移動体通信事業、OA 機器販売事業、インターネット関連事業 他	
（5）設 立 年 月 日	昭和 63 年２月５日	
（6）資 本 金 の 額	54,259 百万円	
（7）大株主及び持ち株比率（平成 28 年９月 30 日時点）	有限会社光パワー	42.10%
	重田 康光	2.51%
（8）上場会社と当該会社との関係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	該当事項はありません。

（9）当該会社の最近３年間の連結経営成績および財政状態

決算期	平成 26 年３月期	平成 27 年３月期	平成 28 年３月期
連結純資産	143,651 百万円	175,511 百万円	180,340 百万円
連結総資産	338,815 百万円	393,352 百万円	410,352 百万円
１株当たり連結純資産	2,842.67 円	3,488.34 円	3,588.96 円
連結売上高	565,165 百万円	562,509 百万円	574,523 百万円
連結営業利益	31,763 百万円	32,084 百万円	37,483 百万円
連結経常利益	39,737 百万円	36,551 百万円	38,356 百万円
連結当期純利益	29,352 百万円	20,763 百万円	25,021 百万円
１株当たり連結当期純利益	623.71 円	450.27 円	538.13 円
１株当たり配当金	140 円	160 円	186 円

4．日程
平成 28 年 12 月 1 日 取締役会決議／基本合意書締結
平成 28 年 12 月 9 日 合弁契約締結（予定）
平成 28 年 12 月 20 日 合弁会社設立、事業開始（予定）

5．今後の見通し
本件により、当社業績に与える影響は現時点では軽微であります。11 月 25 日に発表致しました、中期経営計画には盛り込んでおりませんが、今後、業績に重大な影響を与えることが明らかになった場合は、速やかに開示いたします。

光通信社との合弁会社を活用

新規営業担当者の出向を依頼

光通信

IE Group,Inc.

対策方針

人員の足りていない
東京営業所ベテラン営業は、
既存中堅チェーンの
システム更新等の受注に専念

当社51% 光通信49%の合弁会社

株式会社 AFSマーケティング

新規営業担当者出向
見込み客ＡＢＣを共有し、
合同獲得営業体制に

光通信社側でも出向対象人数が足らず間に合わなかった

ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

2017年9月期下期 業績結果分析④

８月－９月での、ＰＯＳシステム入れ替え既存ユーザー(約８０店舗)が急遽
ハイエンドＰＯＳシステム「 FOOD α 6000 」から、低価格モデル「FOOD α 4000」に変更

※競合対策による※　(本来はスタートアップ飲食店向けの代理店専用機器)

FOOD α 4000

無事すべて(約350店舗)当社のPOSシステムに入れ替わったが
売上は約40% 利益は20%に低下した。

ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

2017年9月期下期 業績結果分析⑤

新社屋／新型「オフグリッドデータセンター」は、山口県下最大級の自然公園立地の為、行政許認可(緑地地区によるインターネット回線の地下埋設が原則)関係で、当初予定の３月竣工が９月に遅れ、日本最多規模の多決済サービス「WeChatPay」、「Alipay」、「LINE Pay」決済が、７月に開始できなかった。

■150haに及ぶ自然公園立地の本社／データセンター／ホテル■

新センターは
このあたりに立地

■公園側からのホテル■

■玄関側■

■新型オフグリッドデータセンター■

日本で初めての規模の、建築物省エネルギー性能表示制度（BELS（Building-Housing Energy-efficiency Labeling System）：ベルス）５つ星(ファイブスター)も国内初の規模で取得。

ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

2018年9月期　事業戦略

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

2018年9月期 業績計画①(通期)

◆システム機器とパッケージ販売のバランスで、営業利益率20%の早期達成を目指す
◆ＡＳＰ基幹業務サービスと、**「飲食店経営管理システム®」**パッケージ融合サービス、「自動発注システム」で、比類ない業界専用システムサービス／多決済サービスでの大幅月額増を推進
◆システム機器は、更なる独自共通部品化を推進しつつ、汎用機型へのソフト提供で、今後の金型投資抑制を推進

（単位：百万円）

主な勘定科目	18/9月期（計画）			17/9月期	
		構成比	対前年同期増減率		構成比
売上高	2,260	－	8.3%	2,087	－
営業利益	220	9.7%	61.6%	136	6.5%
経常利益	190	8.4%	51.9%	125	6.0%
当期純利益	146	6.5%	9.5%	133	6.4%

ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

2018年9月期 業績計画②(各四半期)

◆今期も引き続き、第１四半期となる10月～12月の特に11月～12月は、外食企業の繁忙期の為、粗利率の高い**「飲食店経営管理システム®」**の導入が少なく、売上、利益共に、他の四半期と比較して、低い進捗率となる予定。

◆**「飲食店経営管理システム®」**の事業所給食向けシステムは、周辺オプションが出揃った為中堅規模の商談が多くなっているものの、期間も長くなってきており、第３四半期の納品開始が多くなる予定。

（単位：百万円）

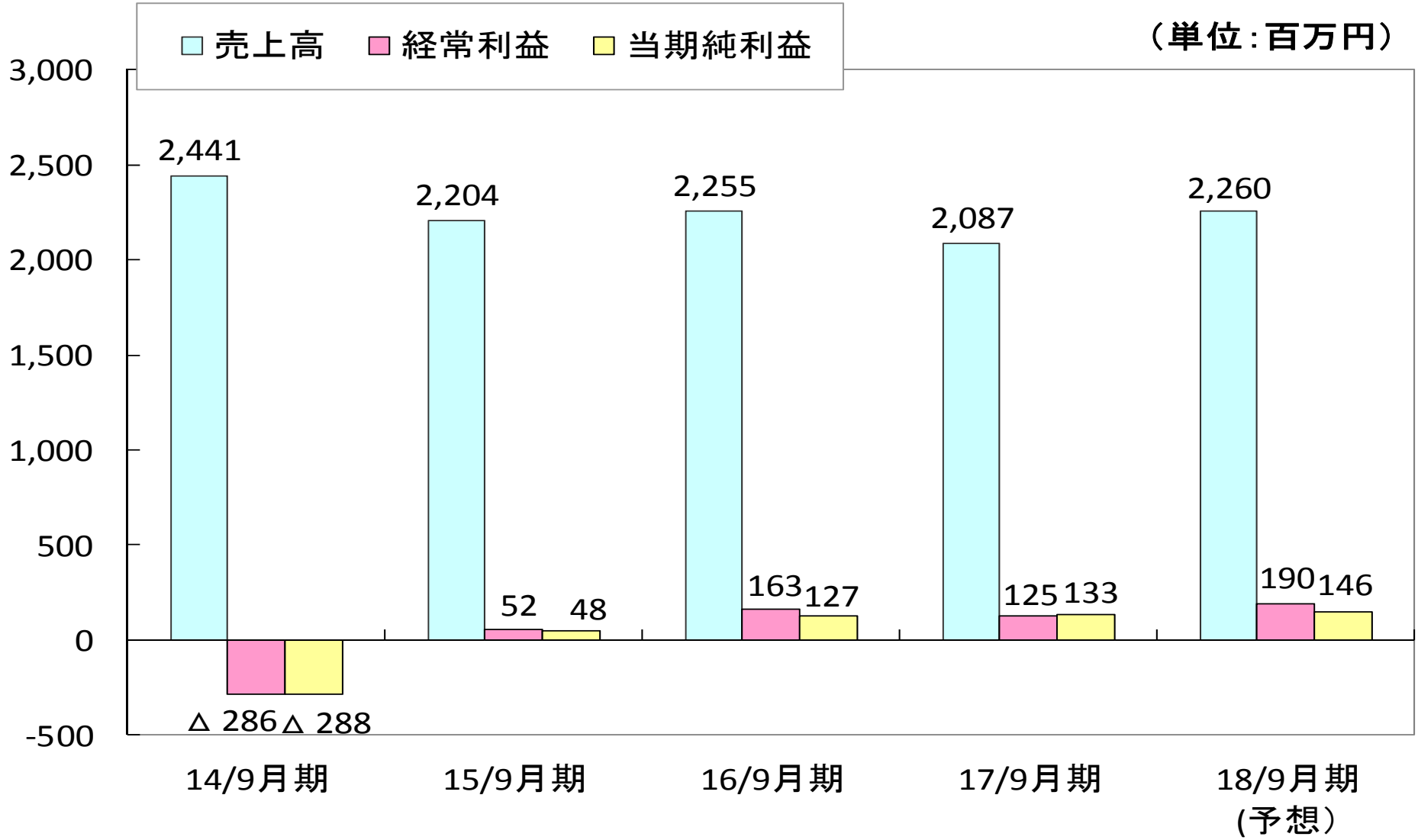
主な勘定科目	18/9月期（計画）				
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	通　期
売上高	500	560	590	610	2,260
営業利益	40	50	60	70	220
経常利益	35	45	50	60	190
当期純利益	25	32	40	49	146

ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

業績の推移予想

■機器販売とソフト販売のバランスをとり、近年最高の利益を更新



ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

事業別売上高予想

◆ＡＳＰ／クラウド型基幹業務サービスは、「基本サービス」のみに集中
◆**「飲食店経営管理システム®」**クラウド型の市場投入で、「食」のあらゆる業種／業態への新規顧客の獲得　＋中堅以上のチェーンの獲得も可能となりました。
◆低粗利商品(特に周辺機器)の販売政策の更なる見直し→システム機器製品に拡大

（単位：百万円）

主な事業セグメント	18/9月期（予想）			17/9月期	
		構成比	対前年同期増減率		構成比
ＡＳＰサービス事業 等	1,400	60.9%	26.9%	1,103	52.9%
システム機器事業	560	24.3%	-31.4%	815	39.1%
周辺サービス事業 等	300	13.0%	78.7%	167	8.0%
合計	2,260	－	8.3%	2,087	－

ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

費用の見通し

◆経費の効率的配分を継続、機器販売のプッシュ型営業はやめ、大型展示会出展/販促費へ費用を配分
◆システム機器と、高粗利の**「飲食店経営管理システム®」**のバランス販売で、全体としての高粗利体質に

（単位：百万円）

	18/9月期（予想）			17/9月期		コメント
		構成比	対前年同期増減率		構成比	
売上高	2,260	―	8.3%	2,087	―	粗利とのバランス販売に集中
売上原価	1,200	53.1%	−9.9%	1,331	63.8%	システム機器販売の構成比低下により、原価低減
売上総利益	1,060	46.9%	40.3%	755	36.2%	
販管費	840	37.2%	35.6%	619	29.7%	
人件費	450	19.9%	18.7%	379	18.2%	新卒･中途者の積極採用及び、定期社員研修の充実化
その他	390	17.3%	62.3%	240	11.5%	経費の効率配分で、必要販促費を増額
営業利益	220	9.7%	61.6%	136	6.5%	**「飲食店経営管理システム®」**販売比率増で収益改善
営業外収益	2	0.1%	−78.2%	9	0.4%	
営業外費用	32	1.4%	58.4%	20	1.0%	
経常利益	190	8.4%	51.9%	123	6.0%	

社員数	115名	6.5%	108名

ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

今期の取り組み－全体

①現行製品等の継続的強化と「**飲食店経営管理システム®**」販売に集中

IMSSα（顧客管理ｼｽﾃﾑ）承継、代理店政策の強化により、早期のシェア拡大を目指す

②新データセンターの建設稼働で、中堅チェーン以上の受注拡大へ

新基準のISO27001取得、更新で更なる安心／安定の強化

③新データセンター完成に伴い、外食向け多決済サービスの拡大へ

LINE Payをはじめ、今後のインバウンド増に向けた決済を追加

④自前ネットワークによる中途・新卒採用、確定拠出年金制度に加入

新サービス・製品拡大に対応した、技術/営業の全社一斉研修を定期化

⑤ソフト／サービスの海外展開を模索し、サービスの選定に着手

次の成長、海外進出を目指し「**飲食店経営管理システム®**」多言語化に着手

ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

2018年度～　中期経営計画の概要

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

2018年度～　中期経営計画　業績目標

◆売上高よりも、利益率の改善を優先した企業体質の強化に重点を置いた前３ヶ年計画を継続。2020年以降は、売上規模の拡大と、絶対利益額拡大を計画予定

（単位：百万円）

主な勘定科目	17/9月期	18/9月期	19/9月期	20/9月期
	実　績	計　画	計　画	計　画
売上高	2,087	2,260	2,400	2,550
営業利益	136	220	380	440
経常利益	125	190	351	409

ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

中期経営計画のテーマ

周辺サービス完全統合で
新規顧客層の間口を拡大

■外食ウルトラ統合サービス「ＦＯＯＤ ＧＥＮＥＳＩＳ」は
店舗ｼｽﾃﾑ機器/基幹業務ｼｽﾃﾑ/Ｗｅｂ集客支援ｻｰﾋﾞｽを１社で手掛ける、当社ならではの業界初の周辺統合一元管理サービス

●＋「飲食店経営管理システム®」の提供と融合で、“食”企業のすべての業種／業態に対応できるようになった●

＋クラウド対応で、中堅以上のチェーンまでのすそ野拡大へ

FOOD α 5000の決済端末に新たに「LINE Pay」決済を追加

外食企業に対して、当社データセンターで、決済を取りまとめる機能を提供。

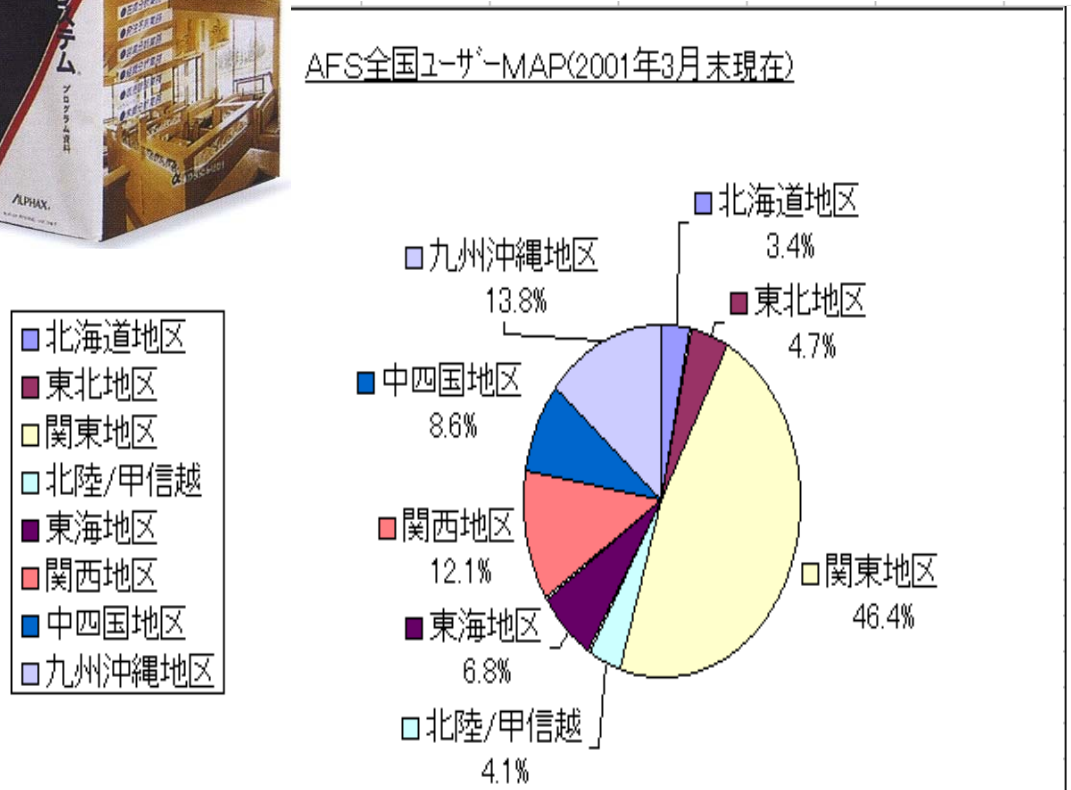
ALPHAX FOOD SYSTEM

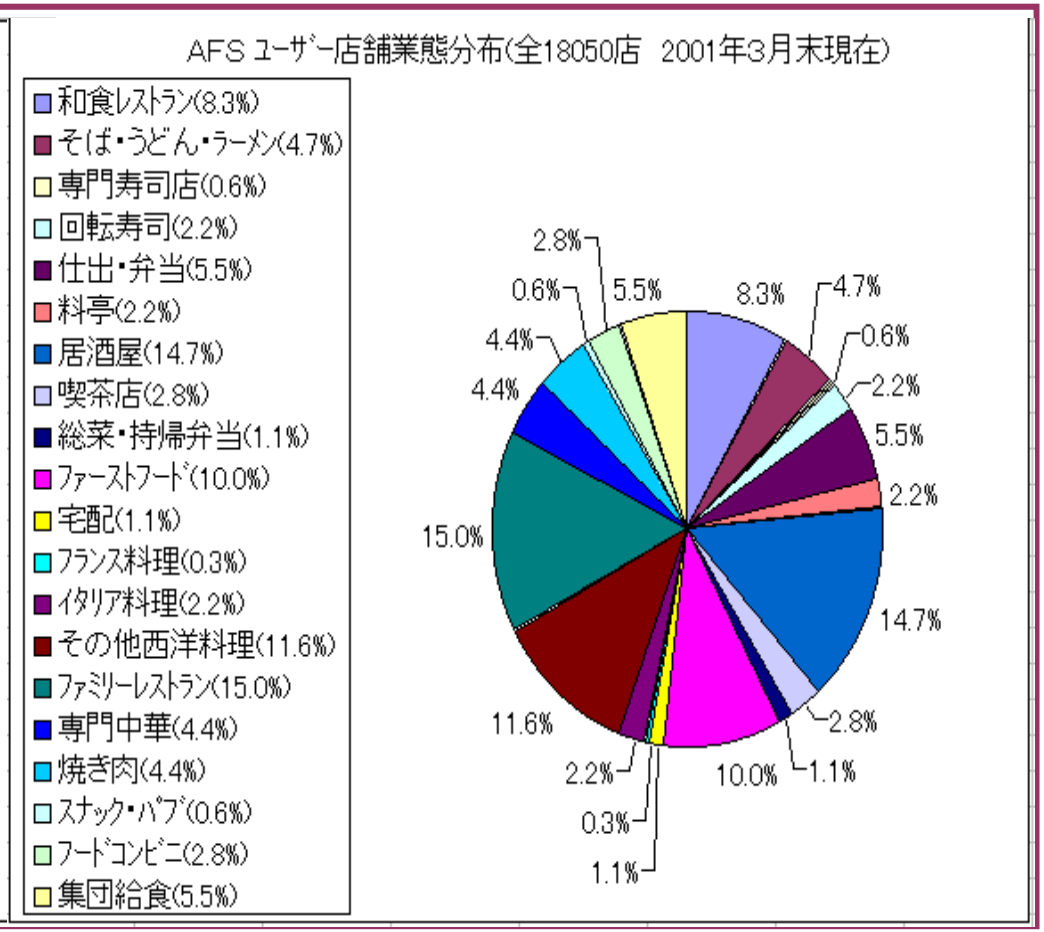
Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

「飲食店経営管理システム®」これまでの累計ユーザー数 ユーザー業態MAP

◆創業時、発売後実質５年間で、国内1500社、18000店舗に急拡大◆
“食”業界の情報システムに革命をもたらしました。(大ベストセラー、一大ブームに)

現在でも、約100社1000店舗が使用中 → 小規模店の入替え進行中





「飲食店経営管理システム®」は、当時のパソコンの容量／スピードが、システムに追いつかず、残念ながら実質1995年から販売を停止していました。

ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

今後も継続する営業推進策①

◆新規受注獲得の為、積極的な販売推進への予算配分を継続◆

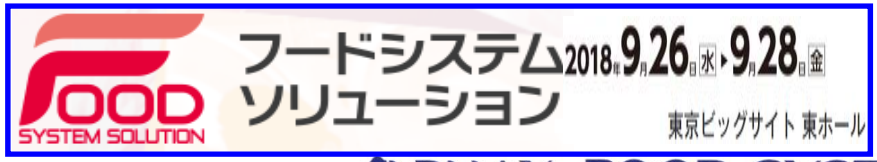
■マーケティング／営業推進本部再編成により
広告宣伝の出稿も継続

■ “食” の大型展示会に、継続して出展
■「自動発注」セミナーを(３ヶ月ごと)定期開催！

■ 2018年５月 (外食ﾗﾝｷﾝｸﾞ特集号)付 日経MJに全面カラー広告継続

自動発注システムは
継続出稿

■今後も出展継続■



ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

今後も継続する営業推進策②

◆「飲食店経営管理システム®」と「FOOD GENESIS」の融合サービスで比類ない専門性を追求◆

新規顧客の拡大	既存顧客囲い込み

ＡＳＰ／クラウド型 基幹業務サービス事業

①新データセンター完成告知で積極的受注 ②日本一の安全性アピールで大手受注も ③ISO･オフグリッドの高技術をアピール	①標準サービスに徹し、粗利率の改善 ②追加サービスの投入よる月額サービス増 ③他社周辺サービスとの接続による拡大

「飲食店経営管理システム®」 基幹業務パッケージシステム販売事業

①あらゆる業種の“食”企業へのアプローチ ②全国セミナー/大型展示会販売を継続 ③高粗利の為、全国代理店網の早期構築 ④マルチベンターPOS集信化で、共創未来 ⑤食専門ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄへのｱｶﾃﾞﾐｯｸ価格で販売促進	①過去1500社18000店舗への再アプローチ ②現使用中の100社1000店舗への入替推進 ③ＡＳＰサービス顧客への追加アプローチ ④「自動発注システム」の追加アプローチ ⑤ＡＳＰ型サービスとの融合サービス推進

システム機器事業＆周辺機器サービス事業

① FOOD α 6000 の市場投入で受注拡大 ②新型ハンディ（Handy shot）での 新テーブルオーダー他、追加機能リリース	① FOOD α 6000 の入替促進 ②新型ハンディ（Handy shot）の 新テーブルオーダー他、追加機能の受注

ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

全国販売代理網で

新規顧客の拡大と、
すそ野の拡大

◆ＡＳＰサービス事業・基幹パッケージ事業・店舗ｼｽﾃﾑ機器事業双方向からアプローチ◆

■外食ウルトラ統合サービス「FOOD GENESIS」機能を完全補完■

【”食“産業全体がマーケット】

ＡＳＰサービス事業

直販主体
(卸販売も)

大手
ベンダー

販売
代理店

大手チェーン
（300社）
(仕出し･総菜･弁当･事業所/介護/病院/学校給食含む)

中堅チェーン
（50店舗以上）
(仕出し･総菜･弁当･事業所/介護/病院/学校給食含む)

成長前
飲 食 店 等
(仕出し･総菜･弁当･事業所/介護/病院/学校給食含む)

基幹パッケージ事業で補完

e店長代理 e-CREW

直販主体
(卸販売も)

大手
ベンダー

販売
代理店

e店長代理 e-CREW

システム機器事業

ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

従来の競合から協業へ 共創未来で、シェア拡大

◆外食業界上位３００社から、成長前の小規模店多業種もターゲットへ◆

「飲食店経営管理システム®」は、マルチベンダーパッケージ　従来の競合会社へも卸販売し、「共創未来」関係に

◀…… 本部側基幹業務システム（ソフト） ……　　…… 店舗側システム機器（POS/OES） ……▶

大手
コンピュータ
メーカー

大手
ＳＩ事業者

ＡＳＰ
事業者

下から上の市場へは
システム対応は難しい

従来の
競合から
共創へ
←卸販売

ソフト･ハードメーカー双方
からの流通販売チャネル

従来の
競合から
共創へ
卸販売→

■POSﾒｰｶｰ■

- NEC
  ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑｽﾞ
- ｾｲｺｰｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ
- 東芝テック
- シャープ
- カシオ
  ⋮

販売

上位３００社
(仕出し･総菜･弁当･事業所/介護/病院/学校給食含む)

販売

従来の競合先に卸販売
販売チャネルの多様化
で、早期の市場浸透へ

法人企業
（中堅企業）
(仕出し･総菜･弁当･事業所/介護/病院/学校給食含む)

従来の競合先に卸販売
販売チャネルの多様化
で、早期の市場浸透へ

販売

販売

成長前の飲食店の
すそ野からの拡大も可能

販売

小規模企業(個人飲食店等)
(仕出し･総菜･弁当･事業所/介護/病院/学校給食含む)

全国７０万店舗

ALPHAX FOOD SYSTEM

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.

Copyright (C) 2017ALPHAX FOOD SYSTEM CO.,LTD All Rights Reserved.